

Rotary

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Serve To Change Lives



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 倉 井 章

幹 事 渡 邊 和 裕

会報・雑誌委員長 原 賢一

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2950号 2022年4月26日(晴れ) 第38回例会 会員数116名

ハイブリッド例会



点 鐘 倉 井 章 会長

司 会 副SAA 飯村 会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇持帰り弁当



ビジター紹介

加藤 会長 エレクト

◇(卓話講師) 公益財団法人 東日本盲導犬協会

事務局長 奈良部 武司 様

広報担当 久野 さやか 様

PR犬 いちごちゃん



会長挨拶

倉 井 章 会長

皆様、こんにちは。4月第4例会にご出席いただき有難うございます。先ずは、知床観光船の事故でお亡くなりになりました方のご冥福をお祈りするとともに、行方不明の方の早期発見をお祈りします。

今月13日に、宇都宮南RCの創立40周年式典に参加しましたが、23日(土)には、延期となっておりました宇都宮RC創立70周年記念式典に出席を致しました。福田知事、佐藤市長、石田ガバナー、第3グループ内のパストガバナー、ガバナー補佐、クラブ会長、幹事が来賓として参加をしております。宇都宮RCは、1951年(昭和26年)12月に東京RCと神戸RCがスポンサー・クラブとなり、24名のチャーターメンバーで創立をしております。70周年記念事業として子どもの居場所づくり、子ども食堂支援として300万円の寄付を行い、子どもたちに各種の社会奉仕活動の場を提供し、インターアクトクラブ、大学と連携し、親と子供の居場所において学習支援を行っております。

WHOが、4月24日から30日にかけて世界予防接種週間を定めておりますが、2022年のテーマ「Long Life for All」は、『ワクチンのおかげで夢を追いかけ、愛する人を守り、健康で長生きすることが可能になる』という考えのもと、人々の心をひとつにすることを目的としております。WHOは世界各国と協力し、ワクチンと予防接種の価値に対する認識を高め、各国政府が質の高い予防接種プログラムを実施するために必要なガイダンスと技術的支援を得られるよう取り組んでいます。世界予防接種週間の最終目標は、より多くの人々、そしてそのコミュニティが、ワクチンで予防可能な病気から守られることです。世界予防接種週間は、WHOをはじめ、Gavi ワクチンアライアンス、ユニセフ、ビル & メリンダ・ゲイツ財団など、さまざまなパートナーによって支えられています。

ロータリーは、子どもたちへの一斉予防接種を通じて「ポリオのない世界」を実現するというビジョンを初めて描いた団体として、予防接種をするという決断は人道的に必要不可欠であると考えています。国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、

- ・全世界における予防接種こそが、新型コロナウイルスの世界的流行を終息させるための方法で、会員を含め、すべての人に対して予防接種を強く奨励します。
- ・誤情報が新型コロナウイルスとの闘いを妨げており、私たちは、科学に基づく情報を会員に提供することに力を注いでいます。
- ・ロータリーは、すべての人がワクチンに公平にアクセスできるよう取り組んでおり、GAVI ワクチンアライアンスとの共同の取り組みを通じて、ポリオ根絶活動における前線での活動を生かし、ワクチン配布を促進しています。
- ・ロータリーでは、新型コロナウイルス感染症の

予防とワクチン接種を支援する取り組みを倍増させるよう、ロータリークラブとローターアクトクラブに奨励しています。

- ・現代医学の最大の進歩の一つであるワクチンは、安全で効果があり、毎年数百万人の命を救っています。ポリオ、天然痘、はしか、エボラ出血熱といった数々の疾病の根絶や抑制においてワクチンが役割を果たしており、現在、予防接種を通じて新型コロナウイルスの世界的流行を終わらせる機会が訪れています。
- ・ポリオの根絶は、今もロータリーの最優先目標です。私たちは、ポリオとの闘いで学んだことを新型コロナウイルス対応に生かすために貢献できます。

と言っております。10月24日の世界ポリオデーにおいて、ポリオプラス寄付のお願いをさせていただきましたが、世界予防接種週間に因みまして、後期におきましてもポリオプラス寄付を是非ともお願いしたいと思います。

本日は、ゲスト卓話です。渡邊年度にお出で頂きました、公益財団法人東日本盲導犬協会 事務局長の奈良部様、広報担当の久野様、PR犬のいちごちゃんがお見えになっております。宜しくお願い致します。

以上、会長あいさつとさせていただきます。



幹事報告

渡邊和裕幹事

- ◇盲導犬育成の募金箱を回すのでご協力を
- ◇ウクライナへの支援金のお預かり、本日迄。
- ◇4月23日の足尾植樹の奉仕活動 宇商マージャー IACは都合により参加キャンセル
- ◇市内 IORC 親睦ゴルフ大会の組合せ表、今週中に配布予定
- ◇5月3日の例会は祝日のため休会

「3分間スピーチ」

菊地 正幸会員



皆さま、こんにちは。本日は、4年間、大学では弓道部に入っていましたので、弓道の話をしたと思います。なかなか弓道の試合を見ることはないと思いますが、36 cmの的を28m離れたところから狙い打つ、また大きな的だと、1mの的を60m離れたところから狙います。大学のリーグ戦は、各大学の弓道場に行っておこなわれます。大きな大会ですと、インカレや全関東選手権が、私の時には、日本武道館のアリーナに弓道場をこしらえて、そこで大会が開催されました。

大阪では住吉大社での弓道大会、京都では平安神宮や三十三間堂の弓道大会にも参加しました。三十三間堂ですと、成人の日に振り袖姿の女性が弓を放っている映像をよく目にされると思いますが、あれは、三十三間の外側で1mの的を60m離れたところから狙っているという映像です。三十三間堂の大会に出てびっくりしたのは、軒下に矢が一本刺さっていて、的に当てるより、こちらの方に当たったほうが記憶に残るいい思い出になるかと思いましたが、小心者の私はそんなことは出来ずに、ちゃんと大会に参加してまいりました。

また、弓道では昇段審査があります。東京ですと明治神宮の弓道場で春秋2回の昇段審査があります。初心者で入部した私は、1年の秋が初段の審査、2年の春秋、3年の春と、順調に4段まで昇段出来ました。ただ、5段になると、筆記、作法的中などもあり、難しくなります。認定料も段々高くなります。学生の時に、2万弱くらいかかったと思いますので、4段で終了という形になりました。さまざまな弓道は目につくことがなく、一番目につくのは、流鏝馬でしょうか。流鏝馬はまた弓道と違いますが、弓を目にすることはなかなかないと思います。弓の強さは、キロ数で計っています。アーチェリーと違ってメジャーにはなりません。弓道を一生懸命やってきたことは、楽しい思い出になりました。

次の3分間スピーチは田嶋さんをお願いしております。弓道だけに、的外れな話がなければ幸いです。お後がよろしいようで。

※次回3分間スピーチは田嶋宏章会員



卓話

「東日本盲導犬協会の活動」



公益財団法人 東日本盲導犬協会
ご挨拶 事務局長 奈良部武司 様

本日はお招きいただきありがとうございます。私ども盲導犬協会は、昭和49年に栃木県の所管で栃木盲導犬センターとして発足いたしました。その後、平成22年に内閣府所管として、公益財団法人東日本盲導犬協会と名称を変更させていただきました。現在に至っております。これまで

に多くの皆様にご支援をいただきながら、40年近く活動させていただいております。また、宇都宮東ロータリークラブの会員の皆様には、スタットレスタイヤ購入資金のご寄付をいただきました。今後も、一頭でも良い盲導犬を育成してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。協会の細かい内容につきましては、久野の方から紹介させていただきたいと思っております。



東日本盲導犬協会の活動について

広報担当 久野さやか様&PR犬 いちごちゃん
皆様、こんにちは。本日は、PR犬のお仕事を
している「いちご」と共に来ております。今回
は前回(2020.11.24卓話)より一歩踏み込んだ
内容でご紹介させていただきたいと思っております。

— スライドにて説明 —

当協会の活動は、「盲導犬ユーザーに笑顔を」ということをモットーに、視覚に障害をお持ちの方が豊かに自分らしく生活出来るように支援することを目的にしています。具体的な内容は、盲導犬の訓練や育成、視覚障がい者の方へ盲導犬と歩く際の歩行の訓練、また、白杖での歩行訓練や生活訓練、スマホや音声パソコンの使い方などの指導もしております。そして主には小学生の方へ、盲導犬を正しくご理解いただくための啓発活動をしてしております。盲導犬は、多くの方にお世話になりながら、誕生からパピー、訓練犬として盲導犬になるための訓練、そして盲導犬としてデビューします。今日はこの盲導犬としての現役の部分クロージングアップしながら、ご説明させていただきます。

訓練を進めていく中で、盲導犬としてデビューできると判断されると、盲導犬候補犬となります。具体的に盲導犬の仕事は次の5つになります。「道の端を歩く」「障害物をよける」「段差の手前で止まる」「交差点など、道の角で停止」「人の指示した方向に進む」、これを組合せながらユーザーのサポートをしていくという形になります。小さなお子様は「道案内をしてくれる」と思っていることが多いのですが、盲導犬はあくまでも、視覚障がい者が歩くときのサポート

をする、というものになります。

盲導犬としてデビューしても大丈夫ということになるとマッチングを行いません。盲導犬を希望する方のご自宅に面接に伺い、その方の歩く様子や歩行のルート、都心部かのどかな田舎道か、歩道と車道がしっかり整備されているエリアか、歩行目的は仕事か運動か等、ご希望を聞いていきます。マッチングをすると、いよいよ、盲導犬としてデビューするための訓練に入っていきます。ユーザーさんには、共同訓練を受けていただきます。初めての方は4週間、2頭目、3頭目の方は約2週間、盲導犬との歩き方はもちろん、お世話の仕方が出来るように練習していただきます。初めての方は、前半の2週間は盲導犬協会に泊まり込みをしながら、歩行の仕方、ブラッシングやトイレの仕方など、練習します。後半2週間はその人のご自宅に行き、これから一緒に歩いて行く道を安全に歩けるよう、現地ですっかり練習をします。共同訓練を無事にクリアすると、盲導犬、ユーザーとしてデビューしていきます。

盲導犬は、現役は2歳頃から、10歳位で引退となります。協会ではその間、フォローアップを行いません。電話でのフォローアップも併せ、必ず年に1度、歩行の確認をします。この時は、職員は姿を見せずに、後ろから歩行の様子を見ます。場所によっては大きな道が出来たり、バス停が動いたり、通っている病院の位置が変わったなどもあり、安全に歩けるように、ルートの組み立てから行ないます。信号機の無い横断歩道を渡るよりも、大回りをしてでも信号のあるルートを歩いていただいた方が安全ですので、そういったルートをとれるように現地で練習しながらフォローアップします。

※盲導犬ユーザーの歩行の様子を動画で紹介

最後に皆様に知っておいていただきたいこと、お願い事項もありますので、前回同様、クイズ形式でお話したいと思います。

- ・盲導犬は信号の判断ができるか
盲導犬は信号の色はわかりません。ユーザーが車の発進や、周囲の人の歩く音など、周りの音を聞いて信号を判断しています。ハイブリッドの車などが増えてわかりづらくなった、という声も聞きますので、盲導犬を連れて方や白杖を持った方を見かけたら、「青になりましたよ」と一言、声をかけてあげてください。また、ハイブリッド車などに乗っている方も注意してください。
- ・盲導犬はユーザーと一緒にお寿司屋さんに入れるか
一緒に入ってよい、ということが、国の法律

で決められています。盲導犬は、法律上はユーザーの体の一部として解釈されます。補助犬法で、ユーザーが入れる所には、補助犬も一緒に入ることができるのですが、法律が出来て20年経ちますが、知らない方がまだまだたくさんいます。飲食店の入店拒否や、タクシーの乗車拒否などあります。行きつけのお店など、知らないようなら、そのことをお伝えいただければと思います。

・盲導犬を1頭育てるのにいくらかかるか

約500万円かかります。このうちの90%以上が皆様からいただく募金や寄付ですので、ご支援、よろしくお願いいたします。ご支援の方法は、盲導犬の募金箱や、ジュースを買うだけで寄付金になる寄付金付きの自販機の設置もできます。また、賛助会員も募集しております。そして、本日ちらしを配布しましたが、4月1日から5月末まで、クラウドファンディング第2弾に挑戦中です。第1弾は皆様からのスタッドレスタイヤをはいているハイエースの購入でしたが、第2弾は老朽化が

激しい電気設備の更新です。協会のホームページからお手続きいただけます。

今後とも、ご支援、どうぞよろしくお願い致します。

※PR犬のいちごちゃんは、前回来たイリスちゃんと姉妹と一緒にPR犬の仕事をしているとのことでした。

